



熊野本宮神園祭で舞う巫女
(みなべ町高城地域の西又パイロットで)

御神園で神園祭

収穫に先立って

みなべ

みなべ町高城地域の西又パイロットにある熊野本宮大社(田辺市本宮町、九鬼家隆宮司)の御神園で16日、収穫に先立って梅園を清める熊野本宮神園祭が営まれた。

御神園(約60㍏)は2005年に設けられ、神園祭は4回目。九鬼宮司や巫女(みこ)、御神園が自社梅園の一角にある東農園の東善彦社長ら約20人が出席した。神事後、全員で梅を収穫した。

採った梅は、梅干しとジュースに加工する。梅干しは参拝者にお印とし

て配布している。梅ジュースは、昨年から参拝者にお神酒の代わりに出している。

東社長は「梅に携わる者として、九鬼宮司に神事を営んでもらえ、感謝している。産地発展のため、より精進したい」と話した。

九鬼宮司は「東社長の配慮で神園を設けさせていただいている。県外からのお参りも多く、県の特産物である梅をお印として振る舞い、お神酒代わりの梅ジュースも喜ばれている。地球温暖化による影響から環境保全が叫ばれており、梅を通して自然の恵みへの感謝の気持ちを発信していければ」と話している。